

平成29年

雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成29年3月6日～8日】

平成 29 年雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	3/6(月) 9時30分～	8 / 細木 照子	一括	1～2	11	3/8(水) 9時30分～	11 / 藤原 政文	一問一答	19～20
2		4 / 中村 辰眞	一問一答	2～4	12		1 / 上代 和美	一問一答	20～23
3	3/6(月) 13時00分～	18 / 堀江 治之	一問一答	4～5	13	3/8(水) 13時00分～	10 / 周藤 正志	一問一答	23～24
4		6 / 矢壁 正弘	一問一答	5～8	14		3 / 松林 孝之	一問一答	24～26
5		5 / 原 祐二	一問一答	8～9	15		/	一問一答	～
6	3/7(火) 9時30分～	12 / 西村雄一郎	一問一答	9～11					
7		13 / 土江 良治	一問一答	11～13					
8	3/7(火) 13時00分～	15 / 細田 実	一問一答	13～15					
9		16 / 堀江 眞	一問一答	15～16					
10		2 / 中林 孝	一問一答	16～19					

平成 29 年雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表

平成 29 年 2 月 28 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	8	細 木 照 子 (一 括)	1. 高齢社会の安全 対策の積極的な先 取り指導について	(1) 高齢運転者の事故防止、夜間歩行者事故防止、高齢農業者の農機 具事故防止等の安全対策は、早期の予防的、積極的な指導・周知が必 要だと考える。雲南警察署等の努力は拝見しているが、雲南市として の指導・周知などの実態・見解等を伺う。	担当部長
			2. J R 木次線の活 用について	(1) 鉄道の赤字路線廃止論議が出ると、どことも対策協議会などを立 上げて話し合われるが、それでは事後対策にしかならない場合が多 い。そうしたことになるよう、木次線の活用について、各種会合 の時間を配慮したり、各地区の市民バスの運行時刻を最寄り駅の列 車時刻に調整したり、今のうちから市民や団体等と話し合いの場を 持つことは出来ないか。	担当部長
			3. 異常気象に対応 する地域づくりに ついて	(1) 豪雨の時、田んぼの水を調整して「田んぼダム」を実施し、下流 域の被害を減らした例がある。市でも豪雨災害時にこの様な、田んぼ の多面的機能を活用する考えはないか。 (2) 災害時には電柱の倒壊が救援作業を困難にしている。無電柱化を 積極的に押し進めることは出来ないか。	担当部長 担当部長
			4. 住宅耐震化率の 市の状況について	(1) 住宅耐震化率の達成率で、県は全国でも厳しい状態だ。市の耐震 化率はどのような状況で推移しているか。	担当部長
			5. 「地区名板」の設 置について	(1) 市内を歩いていても地区名がわからない。認知症徘徊者対策のた めにも旧大字地区へ簡単な「地区名板」が設置できないか。	担当部長
			6. 種子法の廃止に ついて	(1) 種子法の廃止が今国会に提出されるようだが、生産者に十分な説 明がない。市としての見解を伺う。	担当部長
			7. 山林の保全につ	(1) 最近、山林では植林等が行われておらず、その荒廃を危惧してい	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>ついて</p> <p>4. 乳がん対策と不妊治療について</p>	<p>2月2日に行われた「第2回総合教育会議」を傍聴し感じた事をまじえて質問する。</p> <p>①教育長の特別支援教育に対する熱意を伺う。</p> <p>②出雲養護学校雲南分教室開校から2年、今年度初めての卒業生を送り出す。センター的機能を担うとされた雲南分教室とどのような連携がなされているのか経過を伺う。</p> <p>③臨床心理士の配置が期待される。全国的に見るとこの資格を有するスクールカウンセラーも存在する。本市の臨床心理士資格を有するスクールカウンセラーはいるか。合わせて臨床心理士配置の考えを伺う。</p> <p>(1)平成26年10月時点での乳がんの総患者数は206,000人。女性のがん死亡率では5番目だが、罹患率は一番多い。毎年10月は乳がん撲滅月間とされている。そのシンボルとして「ピンクリボン運動」がある。乳がん検診の早期受診を推進することなど、乳がんの正しい知識を広める事を目的とした啓発キャンペーンである。日本人女性のうち、乳がんを発症する割合は約12人に1人とされており、また、乳がんで死亡する女性の数は年間約1万人弱とされ、全国的にピンクリボン運動が盛んになっている。</p> <p>①本市における乳がん検診の状況を伺う。</p> <p>②乳がん撲滅に対してがん検診以外の取り組み状況を伺う。</p> <p>③10月のピンクリボン運動の展開を期待するが見解を伺う。</p> <p>(2)不妊治療について</p> <p>不妊治療に対しては本市においても助成制度の拡充がはかられ、より手厚くなってきている。人口の社会増を目指す中、人口の自然増</p>	<p>教育長 担当部長</p> <p>教育長</p> <p>担当部長 担当部長 担当部長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>に対しても真剣に取り組まなくてはならない。</p> <p>①不妊治療助成の現状を伺う。</p> <p>②男性に対する助成の考えはないか伺う。</p> <p>③事実婚者や未婚者は助成の対象とならない。出産適齢年齢もあるが、子供を望む一人の女性とすれば不妊に対しては極めてつらいことと考える。一定の条件下において不妊治療に対して助成を可能と出来ないか伺う。</p>	<p>担当部長 担当部長 担当部長</p>
3	18	堀 江 治 之 (一問一答)	<p>1. 「まち・ひと・しごと創生」の雲南市総合戦略について</p> <p>2. 個人番号「マイナンバー」について</p> <p>3. 「アミノインデックス検査」について</p>	<p>(1) 「人口の社会増」への挑戦をし、平成36年の人口目標を36,500人とされているが、目標達成のために取られた主要施策について伺う。</p> <p>(2) 総合戦略の計画で示された平成36年の人口目標36,500人達成の可能性と未達成の場合に交付金等のペナルティーはあるのか伺う。</p> <p>(1) 市内のマイナンバーカード取得の現状について伺う。</p> <p>(2) 各種手続きにマイナンバーカードの写しの添付が求められるが、添付を拒否することは可能なのか伺う。</p> <p>(3) マイナンバーカード取得率向上の有効な策は有るのか伺う。</p> <p>(1) 今や、「がん」にかかる人は二人に一人とも言われている。市が実施しているがん検診の受診率はどのような現状なのか伺う。</p> <p>(2) 少量の採血により「がん」のリスクを知ることのできる「アミノインデックス検査」の市内における受診状況について伺う。</p> <p>(3) 「アミノインデックス検査」は有効な検査であるが高額となるため、受診率を上げるために受診者に対し市の助成措置の考えはないのか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>担当部長</p> <p>市長 担当部長</p> <p>市長 担当部長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 下水道の整備状況と加入分担金一元化について	(1)現時点での下水道整備の現状について伺う。 (2)合併協定書の第22項20目の3で協定されている内容についてどのように理解されているのか市長に伺う。 (3)未だ加入分担金が一元化されておらず、旧町村間の差があることに対するの所見を伺う。 (4)加入分担金一元化の考えはあるのか、またいつになったら一元化する考えなのか伺う。	市長 担当部長
4	6	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 農業政策について	(1)本市の農業政策について ①米国ではトランプ政権が発足し、環太平洋連携協定(TPP)からの離脱方針が打ち出されている。今後、2国間の自由貿易協定(FTA)が交渉に上がってくると思われTPP交渉より更にわが国の農業にとって脅威となると思うが、市長の見解を伺う。 ②国からは、農業者に経営改善や基盤の強化を中心とした努力義務を課す法案など示されている。本市ではこれまで多くの団体・個人が最善の努力をしてきたが、少子高齢化等で後継者が不足し経営が立ち行かなくなっている団体もある。市として今後どのような施策を考えているのか伺う。 ③近年、好条件でも耕作がされていない圃場が目立つ。本市として条件不利地の対策はもちろんだが、好条件の圃場での耕作放棄についても対策を考えるべきと思うが見解を伺う。 ④農業の先行き不安のため、認定農業者の更新を取り止めようと考えている方がいる。ますます農業が衰退する一方だが補助金の拡充等考えられないか伺う。 (2)プレミアムつや姫「たたら焔米」について	市長 担当部長 担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>①平成 28 年度から、農地の維持や米生産農家の生き残りを図るため、雲南市ブランド米「プレミアムつや姫たたら焔米」の取り組みが始まった。プレミアムつや姫栽培要項に従い、より一層付加価値をつけた栽培となったが「たたら焔米」として認定された数量は生産数量の 4 分の 1 にも満たない 23.3%だった。この結果を本市としてどう捉えているのか伺う。</p> <p>②生産農家に負担がかからないように JA や市が試験栽培等実施した後、ある程度「たたら焔米」として収穫量が見込めるようになってから施策を実施すれば良かったのではとの声を聞いたが、そのような考えは無かったのか伺う。</p> <p>③「たたら焔米」は旨み成分をタンパク値に限定しているが、カリ等の成分の配分で十分な旨みが得られると聞いた。これらを加味して「たたら焔米」の割合を上げることはできないか伺う。</p> <p>④平成 29 年度は、作付面積、生産予定数量及び「たたら焔米」の割合数値をどのように設定しているのか伺う。</p> <p>⑤市からの販売補填は、概ね 3 年程度とされ永続的な補填ではないが、販売状況により変更もあるとされている。販売補填打ち切りの判断はどこにおいているのか伺う。</p> <p>(3) 高病原性鳥インフルエンザ対策について</p> <p>①高病原性鳥インフルエンザの発生する時期になった。国内では昨年の 11 月から熊本、佐賀県をはじめ 7 都道府県で発生し多くの鶏が殺処分されている。現在、本市では鳥インフルエンザの対策はどのように行なわれているのか伺う。</p> <p>②市内の養鶏業者は、独自で防鳥ネット、消毒施設等設置されている</p>	<p>担当部長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 学校教育施設・ 市内公共施設のト イレの洋式化につ いて	<p>が、市から何らかの支援はあるのか伺う。</p> <p>③市内で鳥インフルエンザが発生し、養鶏業者に負担が発生した場合に支援は考えられるのか伺う。</p> <p>(1)学校教育施設・市内公共施設のトイレ洋式化について</p> <p>①学校教育施設・市内公共施設のトイレの洋式化について現在の取り組みの状況を伺う。</p> <p>②平成26年3月定例会で、学校教育施設のトイレの洋式化については改修時において対応していく、設置比率を上げるだけの目的での取替えは考えていないとの答弁であった。現在、一般住宅においてもトイレの洋式化が進むなか、計画的な改修が必要ではと思うが改めて見解を伺う。</p> <p>③交流センター、公園施設、体育館等公共施設でのトイレの洋式化について、本市のように高齢化が全国の25年先に行く地域であれば計画的に行なう必要があると思うが見解を伺う。</p>	担当部長
			3. ヒートショック 対応の住宅支援事 業について	<p>(1)ヒートショック対応の住宅支援事業について</p> <p>①家庭内で高齢者が死亡する原因の4分の1がヒートショックに関係しているとされ、早急な対策が必要とされている。現在、高齢者に限らず若年層での発症も多いと聞いている。本市では住宅リフォーム支援事業として「環境にやさしいエコ住宅改修・エコ住宅設備工事」内で、二重サッシ窓や断熱材の設置など暖房対策に支援を行っているが、ヒートショック対応としての支援を拡充してはと思うが見解を伺う。</p> <p>②国では、地域型住宅グリーン化事業等でヒートショックに対応し暖房性能に優れた長期優良住宅等に支援を行っている。本市として</p>	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>このような制度に上乗せ支援等は考えられないか伺う。</p> <p>③今後、予定されている基町団地等の市営住宅建設に当たっても、ヒートショックの対応が重要であると考えているが見解を伺う。</p>	
5	5	原 祐 二 (一問一答)	1. 転出抑制への対策について	<p>(1) 人口移動の状況と課題について</p> <p>① 国勢調査による人口等基本集計結果と島根の人口移動統計から6町及び30の地域自主組織の状況と課題について問う。</p> <p>② 地域とともに人口の社会増を目指す協働作業、地域自主組織との一層の連携による定住施策の推進について具体策を問う。</p> <p>(2) 住宅対策について</p> <p>① 地域自主組織と定住施策強化に向けた円卓会議を踏まえた、人口の転出抑制に向けた住宅対策を問う。</p> <p>② 市内誘致企業の従業員への住宅等のアンケート結果を踏まえた、転出リスクの抑制に向けた住宅対策への取り組みを問う。</p> <p>(3) 子育て対策について</p> <p>① 子育て世帯の転出を抑制するための子育て環境（保育所・こども園・放課後児童クラブ）について今後の方針を問う。</p> <p>② 放課後児童クラブのない校区の対策について問う。</p> <p>③ 高校生や専門学校生・大学生への通学支援の状況について問う。</p> <p>(4) 住居環境の対策について</p> <p>① 耕作放棄地の拡大を抑制するための支援策について問う。</p> <p>② 有害鳥獣（イノシシ・サル・クマ）による被害防止への対策について問う。</p> <p>③ 工場・事業場の騒音等による住居環境対策について問う。</p> <p>④ 水質汚濁が懸念される公共施設の点検と対策について問う。</p>	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 観光振興への取 り組みについて 3. 消防操法訓練場 の整備について	⑤生活環境に深刻な影響を及ぼす空き家(特定空家)に対する苦情状 況と対策について問う。 (1)観光協会の社団法人化、スタッフの強化、事務所移転等による観 光振興の成果と課題について問う。 (1)市内の消防操法訓練場の状況と整備計画について問う。	担当部長 担当部長
6	12	西村 雄一郎 (一問一答)	1. 地域自主組織に ついて	(1)地域自主組織役員も思想信条宗教またその表現について自由と 考えるが、組織的活動はどうか。また、どのような組織的活動を避け るべきか、確認する。 (2)結社の自由を規制するものだが、その是非の見解を問う。 (3)結社の自由を規制するには、厳密な要件を書面や質疑応答等で 示す義務が市当局にあると思うがどうか。 (4)市では、地域自主組織の法人化に取り組んでいる。法人化するこ とにより何がどう変わるのか。メリット、デメリットは何か。 (5)法人化した場合、構成員を特定しなければならないのではない か。その場合、現在の自主組織は住民票を市に置いてない、あるいは 自治会に入っていない市民等の場合でも同一地域の住民として構成 員と考え、行事等に広く参加を求めている。法人化された場合は組織 が変質してしまうのではないか。 (6)法人化しなくても、公平、継続性、人権尊重等の行動規範、職務 権限、会計基準、職員の採否、賞罰の基準、研修計画等組織として必 要なものは、定められるのではないか。 (7)地域自主組織の中には、予算、収入、支出、決算が大きく複雑と なり、わかりにくいとの住民意見がある。仕訳、記帳事務も大きな負	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. キャリア教育等 今後の学校教育の 方針について	<p>担になる。会計事務、決算開示等簡素化できないか。</p> <p>(8)税金は経済的困難等特別な事情があれば、基準を定め減免される。</p> <p>地域自主組織の会費の場合、減免措置が無いと思われる。困っている人には減免措置を考えるべきではないか。そして、その減収部分は、行政が補填してはどうか。</p> <p>(1)教育長は就任して3ヵ月になった。現在までの感想と今後に向けての抱負を伺う。</p> <p>(2)市の学校教育の支柱であるキャリア教育とは、日本語で一言で、言えばどう言うのか議論があった。明解に示されたい。</p> <p>(3)キャリア教育は、私にとっては「体験教育」、「社会体験教育」の印象が強く、読み書き算数などを身につける印象が薄い。キャリア教育で何を育むのか。教育委員会の考えを伺う。</p> <p>(4)たとえば、国語の授業でのキャリア教育はどのように具体的に行われるのか。また、その場面では、生徒が何を学ぶのを目的としているのか。例示的に教示されたい。</p> <p>(5)NPO法人のカタリバにより不登校児の指導が行われており、学校へ通うようになった生徒も少なくないと聞く。その、成果が生まれる所以は何か。</p> <p>(6)その考え方や技法を現場の先生に生かせないか。</p> <p>(7)教育の魅力化が今後の柱の一つとなると思うが、教育の魅力化とは何か。誰にとっての魅力化か。保護者か、生徒か、地域か、あるいは市外に向けてか。</p> <p>(8)統括プロデューサーの1番目の任務に「キャリア教育による地域</p>	教育長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				の魅力化に向けた戦略設計」、2 番目に「子どもたちにとって真に魅力ある教育の推進」とされている。 地方創生は人材育成が根元にあるのは理解する。しかし、地域の魅力化が主目的なのはどうか。	
7	13	土江良治 (一問一答)	1.「雲南市民文化遺産制度」の創設について 2.「瑞風」や「トロッコ列車」のおもてなしについて	(1)「日本遺産」「世界遺産」と遺産認定が注目をあつめている。最も身近な雲南市民遺産がない。奥出雲町では「奥出雲町遺産(有形無形)」認定制度を創設し地域の宝物の掘り起こしを進めている。地域に残る“宝”を見つめ直し、次世代に継承し地域活性化につなげるためにもこの制度創設を講じるべきではないか。 春になると恒例により「トロッコ列車」の運行が始まり 6 月からは「瑞風」の運行がなされる。瑞風バスの立ち寄り先も決まり、2 月にはその検証もなされた。 (1)問題は立ち寄り観光地のおもてなしはそれぞれの場所で行われると思うが「点」の歓迎にすぎない。トロッコ列車乗客増対策も含め“市民全体で歓迎している”を見える化する体制が必要だと思う。何らかの体制を考える必要はないか。 (2)トロッコ列車や瑞風バスが通過する沿線のそれぞれの場所で歓迎の意味から居場所から手を振るのも一つの手ではあるが人手が必要だ。そこで、JR 各駅周辺、瑞風バス立寄り先周辺に「歓迎かかし」を立て、全市民が歓迎している気持を表わしてはどうか。(かかし製作は自治会輪番制などを検討) (3)トロッコ列車 2 両編成の後部車両に固定具を設置し、自転車を折りたたまずに車内に持ち込める「サイクルトレイン」の社会実験を試みてはどうか。マイカーよりも手軽な観光につながらないか。	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 合併から 12 年 公文書廃棄と保 存、公開のあり方 について	<p>公文書は市民の財産だ。市の公文書の保存期間は市の事務取扱規程によると担当部局が重要度に応じて判断し、1年、3年、5年、10年、10年を超える文書は「永年保存」となっている。永年保存の文書のうち20年を経過して、保存の必要がないと認められる文書については総務課長と協議のうえこれを廃棄することができるとなっている。また、破棄する文書の内、歴史資料と判断できるものについては廃棄する文書の目録を市史編さん主管課長に送付し、その内容を調査、その該当文書を総務課長から引き継ぐことができるとある。</p> <p>(1)市史編さん主管課長は歴史資料に興味を持ち、その判断に精通した人が相応しいと思うがどうか。</p> <p>(2)20年を経過した時点の廃棄、保存は主管課長の判断で決定される。この時点で「永年」から「永久」保存に変わる節目と考える。仮称「雲南市公文書管理審議会」なるものをつくり、主管課長の単眼から複眼に変える必要があると考える。廃棄や保存の判断に審議会の点検制度を設ける必要性があると思うがどうか。</p> <p>(3)国の外交文書などはある期間が過ぎると公開される。取扱規程にこの条文が必要と思われるがどうか。</p> <p>(4)これら公文書は書庫に置かれていると思うが、公文書室(館)の開設構想はないのか。</p>	担当部長
			4. 原発 30 k m 圏内 避難について	<p>(1)平成 27 年 4 月に文科省による 30 k m 圏内にある全国の公立学校の安全対策が調査された。それによると県内の公立学校 202 校のうちマニュアルが策定された割合 62.4%、避難訓練の実施割合は 47.5%であった。市内小中学校 22 校の内、圏内に該当する学校の最新の状況はどうなっているのか。また、避難訓練があったとすれば</p>	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 三日市、中央通りの傾斜既存電柱の耐震診断について	<p>どのような課題が浮上したのか。一般市民の訓練状況はどうか。どのような課題が出たのか。</p> <p>(2)平成26年5月に県が発表した県内4市の避難シミュレーションでは30km圏内住民の避難時間は最長で32時間45分必要とあった。その後、27年7月に避難計画が改定とあった。避難路となる国、県、市道の道路行政も少しでも時間短縮に配慮されたものとしなければならないと考えるがどうか。(例えば、尾道松江線の4車線化。国県市道の脇に渋滞緩和のためや人が感知ゲートを通るだけで汚染の有無を調べられる装置設置の避難中継所の造成など。)</p> <p>(3)広域避難先に指定されている広島県側の避難先の避難施設や職員の配置、必要な物資などを確保する受け入れ計画の策定状況を把握しているのか。策定済みとなれば、自治体同士の役割分担を明確にした覚書の締結はいつ頃か。仮に計画策定に遅れがあるとすればその遅れの要因は何か。避難先の自治体との調整はいつ行うのか。</p> <p>(4)松江市は平成26年5月ルートなどを明記した原発避難地図を冊子にして地区別に配布している。鹿児島県薩摩川内市なども詳しい地区ごとの地図を作成して配布している。市でもこのような地図を作成する必要があると思うがどうか。</p> <p>(1)木次町三日市中央通りに大きな電柱が林立している。道路脇に大きなトランスを抱えて傾いて立っている。道路管理上、強い地震が発生し倒壊すれば救助活動等に支障をきたすと思われる。耐震診断などの必要な措置を講ずるべきと考えるがどうか。</p>	担当部長
8	15	細田 実 (一問一答)	1. 雪害対策について	(1)大雪に伴う除雪について市民から多くの意見が届いていると思うが今後の対策を伺う。	建設部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 島根原発について	<p>(2) 雪解けに伴って道路への木、竹等の倒れ掛かり、水路の詰まりなどによる災害発生も今後は予想される。対策を伺う。</p> <p>(1) 出雲市、安来市、雲南市と中国電力との間に「島根原子力発電所に係る出雲市民、安来市民及び雲南市民の安全確保に関する協定」が結ばれた。松江市、島根県が結ぶ協定との違いがあるが、その有効性について伺う。</p> <p>(2) 協定の内容について市民にも直接説明し、市民とともに立地自治体と同等の内容を求めるべきだと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 島根原発2号機で空調換気系ダクトの腐食が発見された。市はどのような対応をされたのか。</p> <p>(4) ダクトの腐食問題について県知事は住民への説明が必要との見解を示しているが、市長はどのような見解か。</p>	市長
			3. 周辺地域の振興策、定住対策について	<p>(1) 12月議会においても中山間地域においては周辺地域の整備なくして人口の社会増はない、との視点から周辺地域の人口対策と周辺地域の整備について質した。富山県南砺市では(昨年総務委員会で視察)山間過疎地域振興条例を制定し、定住策を実施している。本市も合併後は平等という視点で取り組まれてきたが、周辺地域の振興の視点での施策を行う時期ではないのか。</p>	市長
			4. 農業振興について	<p>(1) 29年度中に農業振興ビジョンを策定する考えが示され、つや姫生産拡大とともに、園芸振興の具体化も表明された。耕作放棄地の増など深刻な問題を抱える本市におけるビジョンの方向性、また、その策定方法を伺う。</p>	市長
			5. 6次産業の推進について	<p>(1) 6次産業について議会議員で三次市、世羅町を視察した。生産に直接に携わっている市民、意欲ある女性の意見を取り入れないと成</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. たたらば壺番地の活性化策について	<p>役割は大きいと思う。各地域の状況把握と緊急時の対応などセンター対応が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(3)改めて道路改良の必要性を痛感した。狭隘な市道、未改良の県道など本格改良は厳しいことは理解するがせめてカーブの多い道路の待避所の設置は急がれる。待避所の設置を検討できないのか伺う。</p> <p>(4)吉田保育所線の入り口がスイッチバックで急坂・全面は急のり面になっている。特に積雪時は送り迎えに難儀されている。早急に回転場の設置などの対策が必要だと考える。見解を伺う。</p> <p>(5)市長所信表明で吉田保育所の子ども園化が述べられた。安全な平場の公共施設に移転する考えはないか伺う。</p> <p>(6)昭和38年豪雪では、当時多くの方がふるさとを離れられた。周辺地域の活性化策について、昨年9月議会で市長から前向きな答弁があったと認識している。今予算にそれを反映されたのか伺う。</p> <p>(1)全線開通から3年目を迎えるが、15年6月に百万人を突破して以降イベントがない。最近の動向を伺う。</p> <p>(2)市内随一の集客施設の活用策と周辺開発について市としてどのように考えているか伺う。</p> <p>(3)たたらば壺番地の敷地が大変狭い。チェーンベース側の除雪敷地の解放や、中央で仕切られたネットフェンスの撤去など活用しやすくできないかとの要望がある。それらの要望についてどう対応するのか見解を求める。</p>	市長 担当部長
10	2	中 林 孝 (一問一答)	1.学校教育について	<p>(1)昨年行われた学力テストの結果について</p> <p>① 昨年4月19日に行われた平成28年度全国学力・学習状況調査及び昨年12月13日・14日に行われた島根県学力調査の結果について</p>	教育長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>て、どう評価・認識されているのか伺う。</p> <p>② 平成28年度全国学力・学習状況調査で中学校数学は国・県と比べて劣っている上、悪化傾向にある。教育委員会としてどこに問題があると考えているか伺う。</p> <p>③ 小、中学生は30年先、50年先の今後の雲南市を担っていく重要な世代であり、対策が急務と考える。問題解決に向け、どのような対策が必要か伺う。</p> <p>④ このような中、教育現場は汲々とした状況にあると新聞報道もある。また、小学校では英語教育の充実にも取り組まなければならないと聞いている。児童も教員も対応していかなければならないが、どのように対応していくか伺う。</p> <p>⑤ 自宅学習時間や読書時間が学力全体に大きく影響しているといわれる。市内小、中学生の自宅学習時間と読書時間の実態、国や県の状況について伺う。</p> <p>⑥ 市内小、中学校に配置されている図書館司書の状況について伺う。図書館司書の配置が学力に及ぼす影響について、どのような認識か伺う。また、未設置校に対する今後の方針について伺う。</p> <p>(2)特別支援教育について</p> <p>① 発達障がい児童・生徒が増加している。市内小中学校の実態はどうか伺う。</p> <p>② 29年度予算にLD教室を新設する予算が盛り込まれたことは時宜を得た施策と評価する。一方で、LD以外の障がい児童・生徒に対する対応もしていかなければならないと考えるが、今後どのような対応策をとっていくか伺う。</p>	<p>教育長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 一次産業活性化 への取組について	<p>(1) 六次産業化の拠点施設「食の幸発信推進事業」構想について</p> <p>① 「食の幸発信推進事業」構想が出てきた背景、目的、意義、施設整備に向けた決意を伺う。</p> <p>② 建設費、設備内容など構想の概要について伺う。</p> <p>③ 先の12月定例会において一次産業、農業所得の向上との答弁があった。六次産業化の対象と想定している農業品目はどのようなものか伺う。</p> <p>④ 市内農業生産高（出荷額）の上位5品目とそれぞれの出荷額、県内シェアについて問う。それら上位品目と「食の幸発信推進事業」構想はどのようにリンクするか伺う。</p> <p>(2) 林業への対応について</p> <p>① 市のHPには面積の大半が林野である、とある。面積の多くを占める林野の活用、すなわち林業の活性化も重要と考える。林業に対する基本的な考え方を伺う。</p> <p>② 市内林業において素材生産量（m³）や生産額の動向（時系列データ）について伺う。</p> <p>③ 現状では林業は停滞していると認識している。林業部門の集約化や森林資源の総合的な活用が先進地では行われている。植林・下刈・間伐・主伐という林業のサイクルを確立し、国産材の有効利用を進めるべきと考えるが、市の現状はどうか。</p> <p>④ 県内の森林造成事業における新植・保育面積は年々低下傾向にある。林業活性化に向け、どのような施策を講じていくのかを伺う。</p> <p>⑤ 林業も後継者不足の状況、林業者への支援策について伺う。</p>	市長 担当部長
			3. 木次線の活性化	(1) トロッコ列車更新について	市長 担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			について	<p>① 先の12月定例会において、トロッコ列車の更新について協議を進めているとのことであった。本年中には結論を出していかなければならないと思うが、その後の進捗状況について伺う。</p> <p>② トロッコ列車で一番のコストは機関車の更新と思う。一方、乗客から見て一番の関心事は列車の内装や車内のレイアウトなど社内設備と見た目の印象が大事で、「いかに感じてもらうか」という視点も大事と考える。現在の車両は機関車がDE15、DE10、車両は12系客車の改造で、いずれも専用の塗装が施されている。改造車ばかりでなく新造車も検討できないか。</p> <p>③ 現在のダイヤでは宍道駅で優等列車との接続が悪い。県外からの乗客も多いと聞く。接続を改善して県内外から“わざわざ乗りに来て頂く”仕掛けを作るべきだと考える。ソフト面、ハード面を更に進化させ木次線の乗客が増加するよう前向きに協議・検討してもらいたい。</p>	
11	11	藤原政文 (一問一答)	1. まちづくりについて	<p>(1) 地域自主組織について</p> <p>① 法人化をめざしているが、法人化のメリット、デメリットも含め、現在の形態とどのように違うのか。</p> <p>② 空き家を利用した民間賃貸住宅を整備する定住推進住宅改修助成事業は、地域自主組織も対象になっている。例えば、独居の元気な高齢者が、空き家を利用して共同生活する賃貸住宅を地域自主組織が運営しようとすることも可能か。</p> <p>③ 過疎債ソフト分が地域自主組織の財源となっており、次世代に負担をかけることになる。また、過疎自立促進法は、時限立法のため将来まで保証されるものではない。持続可能な地域自主組織運営につ</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 産業振興について	<p>いて、どのように考えているか。</p> <p>(2)携帯電話の不感地帯解消について 今や携帯電話は、必要不可欠なものになっている。定住はもちろん、緊急時はもちろん観光にも幅広く利用されている。不感地帯解消に向け、どのように取り組むのか。</p> <p>(3)「関係人口」について コミュニティキャンパスやブドウの収穫作業の手伝いなど、関係人口という言葉は使われていないが、実際には雲南市でも関係人口が増えている。全国的に人口が減少する中で、「奪い合い」ではなく「関係づくり」が必要と言われている。 雲南市として、「関係人口」増に向けてどのように取り組むのか。</p> <p>(1)商工会員数は、合併前に比べ激減した。現在の会員の1/3程度、後継者がいないといわれている。事業承継専門員の配置もあるが、後継者問題の対応の具体策は。</p> <p>(2)商工連携あるいは6次産業化が言われているが、具体策は。</p> <p>(3)2018年度から米の生産調整が廃止される。このことによる雲南市の農業への影響をどのように想定しているのか。</p> <p>(4)市の農業への影響に対し、どのように取り組むのか。</p> <p>(5)有害鳥獣被害は、益々広がっている。雲南市としての対策は。</p> <p>(6)農業分野にもAI(人工頭脳)の時代が到来し、今、その黎明期ともいわれている。市として「農業のAI」をどのようにとらえ、どのような展開を考えているか。</p>	市長
12	1	上代和美 (一問一答)	1. 除雪問題について	(1)今年度から、各総合センターの事業管理課が廃止され、建設部が体制を組み対応されているということだが、今回のように雪害が市	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>内全域に及ぶ場合、臨時的に総合センターが機能すれば状況把握、または除雪の優先順位決定など素早い対応ができると思う。総合センターを含めた緊急体制の構築を考えるべきではないか。</p> <p>(2) 雪害対策は短期の素早い対応が要求される。市民生活の混乱を招かないように、平時より市民のボランティアでどれぐらい協力していただけるかの把握や除雪を必要とされる地域での雪捨て場の明確化など、迅速な対応ができるようなシステムを構築しておくべきではないか。</p> <p>(3) 今回、通学路の歩道の除雪が一部しか行われず、学校からも子供たちの通学の困難さを伺っている。小型の除雪機を配備するといった対策をとるべきではないか。</p> <p>(4) 機械での除雪には危険も伴う。市道などの公共の場をボランティアで除雪してもらった場合、事故などの対応は公務として保険の適応にならないのか。ボランティアに対する補償を考えるべきではないのか。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>
			2. 国民健康保険の 都道府県化について	<p>(1) 平成 30 年度より国保の保険者が市から県に移行することになるが、「国保料が高すぎて払えない」という声がたくさんある。都道府県化が実施されても市の一般会計に繰り入れは可能である。これ以上の保険料の引き上げ、また独自施策の後退にならないように一般会計からの繰り入れで、被保険者の負担を軽減すべきではないのか。</p>	市長
			3. 滞納対策と生活	<p>(1) 「税金を納めたくても、税金が払えない」という状況が増えてい</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>再建支援について</p> <p>4. 原発問題について</p> <p>5. 教員の労働環境について</p>	<p>る。滞納者はそれぞれの生活実態の中で困窮している。納付相談で生活実態をしっかりとつかんで、相談者が生活を壊さず納付していけるような、自立できるような支援が必要だ。滞納は生活困窮者のシグナルととらえ、自治体あげて生活再建の手助けをすべきである。相談窓口だけではなく、生活再建のプランを集团的に立てる機構が必要ではないか。</p> <p>(2)税金が納められて生活できるように支えることこそ自治体の役割ではないのか。見解を伺う。</p> <p>(1)今年2月10日、立地自治体と同じ条件ではなかったが、中国電力と出雲市、安来市、雲南市の3市との安全協定が締結されたことは、一步前進であると思う。12月議会で「将来原発に頼らない社会を目指す」との所信表明での言及があったが、島根原発の再稼動に対する態度を伺う。</p> <p>(2)先般の原子力発電対策特別委員会の中で、「再稼動した場合、使用済み核燃料の貯蔵が島根原発で何年できるか」の問いに、7年ということであった。処理方法のない「核のゴミ」という点からも再稼動路線の行き詰まりは明らかと思うが、どうか。</p> <p>(3)昨年、野党共闘で誕生した新潟県知事は立地自治体の首長として、再稼動に反対の態度をとっている。立地自治体の首長でなくても、原発30キロ圏内の本市の首長の考えは重みをなすと思われる。市民の安全、安心のためには、再稼動反対の立場にしっかりと立つべきと考えるが、どうか。</p> <p>(1)昨年、大手広告代理店電通の女性社員が長時間労働で過労自殺に追い込まれるという悲惨な事件が起こり、労働者の働き方が大きく</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>クローズアップされている。教育の現場でもメンタルを患う教員が増えているが、市の教職員の勤務時間は把握できているのか。できているとするなら、どの様に把握されているのか。</p> <p>(2)厚労省の平成13年基準では、1か月45時間以上の時間外労働は警戒ラインになっており、脳、心臓疾患が高まるとの医学的見地にもとづいて定められる。平日、土日の部活も拘束時間であり、部活が終わって生徒たちを帰してから次の日の授業の準備をしなければならないとの声も聞いている。時間外労働の実態はどうなっているのか。</p> <p>(3)教職員の多忙化が常態化しているのではないか。教職員も労働者であり、家族もある。ワークライフバランスが取れてこそ、子供たちへの生き生きとした教育ができるのではないか。また、具体的に負担軽減の対策を考えるべきではないのか。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p>
13	10	周 藤 正 志 (一問一答)	<p>1. ふるさと納税について</p> <p>2. 統計が活かされているか</p> <p>3. 「人材の育成・確保」について</p> <p>4. 「定住基盤の整備」について</p>	<p>(1)豪華な返礼品が問題となっているふるさと納税だが、市の基本的な考えを改めて問う。</p> <p>(2)豪華な返礼品のない「企業版ふるさと納税」に取り組む考えはないか。</p> <p>(1)国勢調査結果をどう分析しているのか。</p> <p>(2)各種統計の分析が共有され施策に活かされているか。</p> <p>(1)地域課題解決に取り組む「人材の育成・確保」をまちづくりの大きな柱・戦略に位置づけているが、自治会や地域自主組織などの役員のなり手が無いのが現状だ。地域づくりを担う人材をどう具体的に育成していくのか。</p> <p>(1)さまざまな子育て支援策が講じられているが、残念ながら市内には利便性のよい所に子どもの遊び場・遊園地がない。これでは「子育て</p>	<p>政策企画部長</p> <p>政策企画部長</p> <p>政策企画部長 政策企画部長 市長</p> <p>副市長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>5. 農林業政策について</p> <p>6. 市役所の人員体制等について</p> <p>7. 旧本庁舎の解体撤去後の跡地利用について</p>	<p>てするなら雲南市」とは言えないという保護者の声が多いがどう検討されているのか。</p> <p>(2)2016年は155人の社会減であった。人口の社会増に向けて「田園回帰1%戦略」をそれぞれの地域で実践していく考えがあるのか。</p> <p>(3)県事業を利用した、民間賃貸住宅新築整備への助成は、既存アパートへの圧迫となるのではないか。</p> <p>(1)米の生産調整が平成30年に廃止されるなど農業の行く末が見えない。新たに農業ビジョンを策定し、施設園芸にも重点を置くとしているが基本的な考えや戦略を示すべきだ。</p> <p>(2)市民参加型林地残材収集運搬システムを拡大し、山を生かし守るためにも路網整備が必要だが、予算措置等が不十分ではないか。</p> <p>(1)事務事業量が増大し、時間外勤務も増えている。また退職者の補充も充分でない。職場の現状に沿った適正かつ適材配置を行ない、現行の定員管理計画は見直すべきではないか。</p> <p>(2)時間外勤務縮減に向けてどう具体的に取り組んでいるか。</p> <p>(3)心の不調を訴えている職員が多いがどう対処しているのか。</p> <p>(1)旧本庁舎の解体が実施計画に上がった。跡地をどう利用する考えなのか、検討状況を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>建設部長</p> <p>農林振興統括監</p> <p>農林振興統括監</p> <p>総務部長</p> <p>総務部長 総務部長</p> <p>副市長</p>
14	3	松林孝之 (一問一答)	1.雇用創出と人手確保について	<p>(1)平成29年度は神原企業団地の整備も造成工事に着手され、いよいよ企業誘致活動が本格的に始動されなければならない。こうした雇用の場の創出が進む中、人材確保について質す。</p> <p>①現在の本市における正規雇用の有効求人倍率と、それに対する充足率は。</p>	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2.教育魅力化の未 来創造について	<p>②非正規雇用(アルバイト・パート含む)の求人数の傾向は。</p> <p>③市内高校卒業生の就職率と就職先の傾向(市内外)は。</p> <p>④市内も含めた近郊に大型店の進出が後を絶たない。パイの奪い合いになると、小規模事業者にとって人件費の増には耐えられない。地元事業者への支援策は。</p> <p>⑤人口の社会増に向け、労働人口の増に向けた求人側・雇用側それぞれに具体的な事業を創出しては。</p> <p>(1)地方創生の実現を目指し、キャリア教育のさらなる充実を図るため、統括PDと魅力化CNが配置される。市内3高校を市立高校的なスタンスで取り組む中、その役割は大きなものとなる。</p> <p>①本年より高校入試の制度が変更され、市内3高校の出願状況が発表された。市内中学生の出願状況は。</p> <p>②3高校の出願状況をどう認識しているか所管を伺う。</p> <p>③統括PDと魅力化CNの果たす役割は何か。</p> <p>④教育魅力化推進会議を設置されるが、そのメンバー構成と審議内容は。</p> <p>⑤本市が目指す高校魅力化の目的と目標は何か。</p> <p>⑥県の高校適正配置に関する計画があり、今後の検討がなされている。把握している情報は。</p> <p>⑦近年、県内他市の高校で再編が実行された。検討会が地元で設置されたが、すでに県が示す方向性の計画遂行にとどまった。こうした前例に学び、県に対して先んじて意見要望や運営理念を地元が示すことで、本当の「市立高校的」学校づくりが可能になる。市内3校を、「雲南高校」として3つのそれぞれ特色のあるキャンパスづ</p>	<p>担当部長 担当部長 担当部長</p> <p>担当部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育長 教育長 教育長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				くりを推進するために「様々な観点と見地からの検討会」を設置し、県に対して発信すべきと考えるが所感を伺う。	